

製品名: MAO-A ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab13621**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	61kDa

抗原情報

遺伝子名	MAOA
別名	MAOA; Amine oxidase [flavin-containing] A; Monoamine oxidase type A; MAO-A
遺伝子 ID	4128.0
SwissProt ID	P21397
免疫原	抗血清はヒト MAO-A 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 298-347

背景

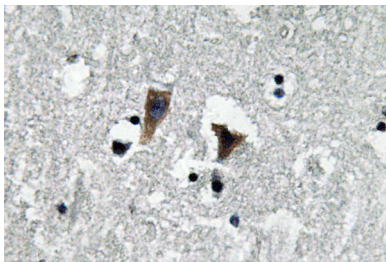
この遺伝子は、ドーパミン、ノルエピネフリン、セロトニンなどのアミンの酸化的脱アミノ化を触媒するミトコンドリア酵素をコードする、隣接する2つの遺伝子ファミリーメンバーの1つです。この遺伝子の変異はブルンナー症候群を引き起こします。この遺伝

子は、反社会的行動を含む様々な精神疾患とも関連付けられています。複数のアイソフォームをコードする選択的スプライシング転写バリエーションが観察されています。[RefSeq 提供、2012年7月]、触媒活性: $RCH(2)NHR' + H(2)O + O(2) = RCHO + R'NH(2) + H(2)O(2)$ 、補因子: FAD、疾患: MAOA の欠陥がブルナー症候群 (BRUNS) の原因です[MIM:300615]。ブルナー症候群は、X連鎖性の非異形性軽度精神遅滞の一種です。男性患者は境界性精神遅滞症候群の影響を受け、衝動的な攻撃性の調節障害を含む異常行動を示す。絶対保因者である女性患者は正常な知能および行動を示す。機能: 生体アミンおよび異物アミンの酸化脱アミノ化を触媒し、中枢神経系および末梢組織における神経活性アミンおよび血管作動性アミンの代謝において重要な機能を有する。MAOA は、5-ヒドロキシトリプトタミン (5-HT)、ノルエピネフリン、エピネフリンなどの生体アミンを優先的に酸化する。質量分析: PubMed:11812236、オンライン情報: モノアミン酸化酵素エントリ、類似性: フラビンモノアミン酸化酵素ファミリーに属する。サブユニット: モノマー、ホモダイマー、またはヘテロダイマー (同様のサイズの2つのサブユニットを含む)。各サブユニットには、共有結合したフラビンが含まれる。モノマーとして酵素活性がある。組織特異性: 心臓、肝臓、十二指腸、血管、腎臓。、

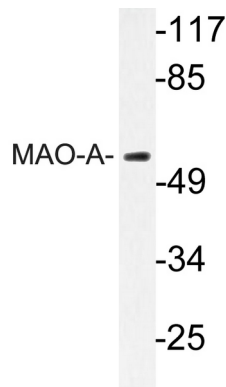
研究分野

グリシン、セリンおよびトレオニン代謝、アルギニンおよびプロリン代謝、ヒスチジン代謝、チロシン代謝、フェニルアラニン代謝、トリプトファン代謝、薬物代謝

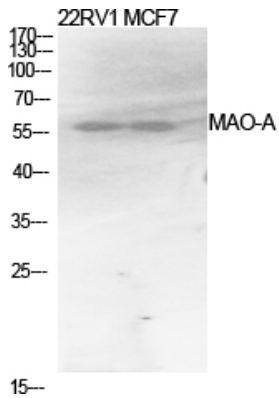
画像データ



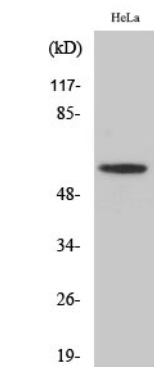
パラフィン包埋ヒト脳組織における MAO-A 抗体の免疫組織化学分析。



MAO-A 抗体を使用した HeLa 細胞の溶解液のウエスタンブロット分析。



MAO-A ポリクローナル抗体を 1: 1000 に希釈して様々な細胞をウェスタンブロット分析した。



MAO-A ポリクローナル抗体 (1: 1000 希釈) を用いた HeLa 細胞のウェスタンブロット解析